

【平成 30 年度 流動化・粒子プロセッシングシンポジウム賞】

＜功労部門について＞

今年度より新設された功労部門ですが、流動層および粒子プロセッシングに関する研究・開発において、長年の業績があり多大な貢献があった研究者の個人またはグループに授与するものであります。同部門には1件の推薦があり、幹事会で審議の結果、東京農工大学名誉教授・堀尾正靱先生の受賞が決まりました。

＜研究部門・技術部門について＞

平成 30 年度流動化・粒子プロセッシングシンポジウム賞の研究部門・技術部門ともに応募がなく、今年度の両部門の受賞者は「なし」となりました。来年度も募集がございますので、積極的なご応募をよろしくお願いいたします。

尚、研究部門・技術部門において受賞者は「なし」となりましたので、第 24 回流動化・粒子プロセッシングシンポジウム 2 日目（12 月 6 日（木））9:00-9:40 のプログラムは中止致します。従いまして、2 日目（12 月 6 日（木））のご講演は 9:40 から始まります。

平成 30 年 11 月 29 日
化学工学会 粒子流体プロセス部会
流動層分科会
FB24 事務局